

支部だより | **ひろしま風景づくりフォーラム フォトコンテスト結果**

広島支部

福馬 晶子

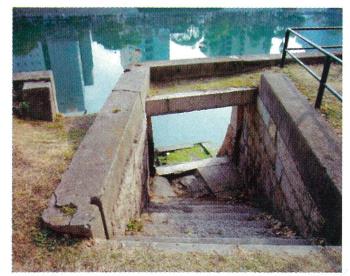
広島支部まちづくり委員会を中心とした「ひろしままちづくりフォーラム」実行委員会では、「広島風景の記憶」をテーマとして、未来に伝えたい風景や被爆前の風景、記憶を残していたり残したいと思える建築・土木の風景などで、広島市内の風景づくりについて考えるきっかけとなるものを、「ひろしま風景の記憶フォトコンテスト」として募集しました。その審査及びフォーラムが、2月7日に開催されました。

広島県建築士会の錦織会長を審査委員長に、建築士である「アトリエトライアウト」の細見恵氏の他、ひろしま美術館主任学芸員の古谷可由氏、広島市立大学芸術学部映像教務員の記谷伸彦氏、APA日本廣告写真家協会正会員の村田剛志氏を審査委員及びパネリストとしてお迎えし、ひろしまの風景について、熱く語っていただきました。

フォトコンテストの結果は以下の通りです。



1等「被爆建物と被爆電車」 山本 隆太



2等「雁木(1)」



3等「シロツメクサの咲く頃」 馬谷 錬治



3等「雪の平和公園から原爆ドームを望む」 中本 健治



3等「ありがとう」 花谷 英親

奨励賞 「桜をくぐる可部線」	安藤 友希
奨励賞 「広島城」	萱原 威
奨励賞 「傷痕」	岡田 英治
奨励賞 「8月6日・灯篭流し・原爆ドーム」	松岡 友夫
奨励賞 「親子のポップラ」	坪島 遊

その後のフォーラムでは、各氏の発表の後、意見交換が行われました。錦織会長は、戦後、絶望の深淵から立ち上がった人間味あふれる風景や、地図だらけの情景、看板だらけの踏切、家の前の道路後退でゆっくりできる場所を設けたケースなどを紹介され、問題提起をされました。細見氏は、戦後の町並みと最近の町並みを比較して、広島の町並みの変遷を話されました。記谷氏は猿楽町の復元CGで、原爆前の広島のどのかな風景を紹介されました。村田氏は、商業写真を撮影する中で、一瞬の風景に何時間もかけるという風景の移ろいについて話されました。

古谷氏は、美術館は美術品の墓場ではないかという問いかけに、「墓場ではいけないだろう。広島の風景を元に戻せばいい」という話ではなく、残し方が問題になるのではないか」と、ゴッホの「ドービニーの庭」の絵の具の下から猫が出てきた例を挙げて、風景の残し方について話されました。

風景は人が介在してこそ、記憶に残るものではないでしょうか。今後のフォーラムでは、そのプロセスについて話し合ってみたいと思います。

2009 Information Calendar 5月・6月の行事予定

5 May

- 11日・一級受験申込受付(～15日まで)
- 23日・平成21年度広島県建築士会定期総会(ローズコム)
- 30日・青年・女性建築士の集い中四国ブロック高松大会
- 31日・青年・女性建築士の集い中四国ブロック高松大会

6 June

- 5日・定期講習(広島)
- 13日・支部対抗ゴルフ大会(主幹:呉地区支部)
- 20日・一級建築士製図対策講座(福山支部青年部会)
- 21日・一級建築士製図対策講座(福山支部青年部会)

※各支部総会の日時については3Pをご覧下さい。

MONTHLY
No.42 建築士



表紙写真について

「地域福祉センター宮浦西」

●発注者／特定非営利活動法人「地域の絆」

代表理事 中島康晴

●設計監理／渋谷建築設計事務所

●施工／富士建設株式会社

●所在地／三原市宮浦町

●構造規模／木造 平屋建て

●用途／小規模多機能型居宅介護事業所

●建築面積／411.87m²

●延べ面積／387.23m²

お年寄りの介護は地域の皆様と一緒に…とのコンセプトの下、福山で2施設を運営されているNPO法人「地域の絆」による

3施設目の小規模多機能型居宅介護事業所です。

談話室の木造の柱・

梁を現した大きな吹き

抜け、道路や駐車場に面した大きな窓、開放的な台所等は、お年寄りをゆったりと温かく包み込み、心地よく過ごせるように計画しました。また、足湯・和室等では、利用者同士、利用者とスタッフが積極的にコミュニケーションを取れるよう心がけました。玄関ポーチは中からも外からもお互いの様子を感じとれるよう、外壁に縦格子の開口部を設けました。これにより、来訪者も事務室のスタッフも、気分をやんわりと切り替えて対応ができるよう工夫しました。この施設が利用者だけでなく、地域の人にも愛されることを願っています。



事務局より 変更届けは提出していますか？

ご自宅の住所や勤務先が変更になられた方、登録事項の変更手続きは済ませましたか？

住所・勤務先が変わっても届出を出されていない方が大変多くみられます。建築士法の改正もあり、建築士としての正確な登録要件は非常に重要となります。

●建築士としての手続き

住所・勤務先の変更のみ→「〇〇建築士住所等の届出」を提出（郵送可）。

お仕事を辞められた方も「勤務先無し」で手続きを行ってください。

届出用紙のダウンロード、その他の手続きについては、広

島県建築士会ホームページに載っています。

(<http://www.k-hiroshima.or.jp/touroku/index.html>)

提出先 広島県建築士会・本部事務局

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47

広島県情報プラザ5F ☎ 082-244-6830(代)

●建築士会会員としての手続き

建築士の免許登録の申請・変更をしても、広島県建築士会会員の登録内容が変更されるわけではありません。各建築士免許の登録・変更をされた方は、広島県建築士会の会員登録内容の変更も行ってください。所属の各支部で随時受け付けています。

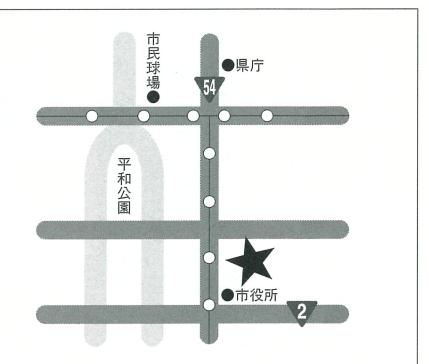


指定確認検査機関（中国地方整備局長指定第1号）
登録住宅性能評価機関（中国地方整備局長登録第5号）

ハウスプラス中国住宅保証株式会社

代表取締役社長 河内 昭士

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目3番32号
TEL.082-545-5607(代表) FAX.082-545-5608



あなたの作品で表紙を飾ってみませんか？

随时、表紙用の写真を募集しています。写真（プリント、ポジ、データ）2~3点を設計概要、設計趣旨（400字程度）と一緒にお送りください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL (082) 244-6830(代) FAX (082) 244-3840
mail : info@k-hiroshima.or.jp
URL : <http://www.k-hiroshima.or.jp/>

事務局より 総会のお知らせ

下記のとおり、各支部総会・本部総会が開催されます。

本部総会及び懇親会

日 時：5月23日(土) 15:00～

会 場：ローズコム 福山市霞町1-10-1

☎ 084-932-7265

懇親会会場：ウエルサンピア福山

懇親会会費：4,000円

ご出欠のお返事は、委任状を兼ねてありますので、欠席の場合でも必ずお出し下さい。なお、総会など、建築士会の行事にご参加の折には記章を襟元に付けるようにしましょう!!

支部総会

支部名	日 時	会 場
県 北	5月 9日(土) 15:30～	三次ロイヤルホテル
三 原	5月 9日(土) 18:00～	三原国際ホテル
広 島	5月16日(土) 15:00～	広島県情報プラザ
東広島	5月16日(土) 16:00～	東広島市産業振興会館
尾 道	5月16日(土) 17:00～	尾道国際ホテル
呉地区	5月21日(木) 18:00～	呉森沢ホテル
福 山	5月23日(土) 13:00～	ローズコム

事務局より 第36回 ゴルフ大会開催のご案内

日 時 6月 13日(土) 時間は調整中です。

場 所 郷原カントリークラブ 呉市郷原町西横尾412

参加費 2,000円 プレー費 11,500円（食事代は別途）

参加希望の方は、各支部事務局までご連絡ください。

(締切：5月15日)

支部だより 尾道支部 省エネ・エコシステムに関する説明会

3月22日、「省エネ・エコシステムに関する説明会」が、奥田元宗・小由女美術館で行われた。業務用建築に導入された先進的省エネ設備の学習会であり、参加者は44名。中国電力株式会社・佐々木講師より、レストランで採用した厨房設備オール電化システムの説明と質疑があり、次に土山講師から館内地下にある水熱源ヒートポンプチラー及び熱回収システムの説明を受けた。

林 康司

この建物設備で印象に残ったのは地熱利用。地下約100mまで40φの熱交換杭を11本打ち込んだ、まさしく最先端の省エネルギー技術だ。他にもいろいろな省エネ・エコの技術が配置された、先進性の高い建物だと思った。



さまざまな省エネ・省コスト建物等の設計に役立つ見学会でした。中国電力様ありがとうございました。

支部だより 呉地区支部 吳高専テクノセミナー

「現代建築における屋上庭園の設計の系譜」

濱井 義樹

呉高専テクノセミナーは、地域の企業、官公庁、一般市民を対象に、呉高専の研究や技術を分かりやすく紹介するとともに、呉高専と地域との共同研究や技術協力、あるいは技術指導などを進めていくなどの地域貢献事業として開催されているものです。今回は3月12日、呉地区支部の事業委員長である呉高専の篠部教授を講師に、呉地区支部との共催で開催されました。



まず講演では、現代建築における屋上庭園の設計の特徴や、時代的な傾向が説明されました。これは、1950年から2007年までの「新建築」誌に掲載された建築作品を調査した結果だそうです。図面内の表記や解説事項から用語を拾い出し分析していくという、意外ながらも非常に地道な着目点に感心しただけではなく、「屋上庭園」という言葉自体に未だ明確な定義が無いことや、建築家自身の考え方によっても定義が違うとい

う点が特に興味深いものでした。実際に、それらの建築物の写真による各作品の設計の特徴が紹介されましたが、時間の都合で全部を紹介していただくことができなかったことが残念でした。

講演に引き続き、呉高専専攻科の学生による特別研究の発表がありました。内容は「小学校における屋上庭園の利用に関する基礎的研究」とする、呉市立川尻小学校と広島市立矢野南小学校での屋上庭園に係る利用実態等の調査結果でした。両小学校を見学された方は多いはずですが、実際に利用されている小学生や先生方などの生の意見に触ることができ、その点でもこの研究は貴重であり、参加された多くの方々にとって参考になったことと思います。

今回のセミナーは興味深いテーマであったためか、予定時間をかなり超過し、質疑応答の時間も不足するほどの充実ぶりでした。31名の建築士会会員を含む約50名の参加者は、最後まで熱心に受講していました。